

船舶事故等調査報告書

平成25年7月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013広第25号
事故等種類	衝突
発生日時	平成25年2月10日（日） 11時25分ごろ
発生場所	香川県小豆島町福田東方沖 小豆島町所在の小磯灯標から真方位228°1,200m付近 （概位 北緯34°33.0′ 東経134°22.6′）
事故等調査の経過	平成25年2月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A プレジャーボート ウエストアイランドⅡ、5トン未満（長さ7.07m） 270-46929岡山、個人所有 B プレジャーボート 常利丸、5トン未満（長さ5.38m） 260-21088兵庫、個人所有
乗組員等に関する情報	A 船長A、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 B 船長B、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	A 右舷船首部に擦過傷 B 右舷中央部外板に擦過傷、船橋に擦過傷及び亀裂、マストが折損等
事故等の経過	A船は、船長Aが1人で乗り組み、操舵室後部で見張りに当たり、魚群を求めて魚群探知機の画面を見ながら、対地速力約10ノットで福田東方沖を北北西進中、B船は、船長Bが1人で乗り組み、同乗者3人を乗せ、釣りをして船首を南東に向けて微速力後進中、右舷後部の船長Bが、間近に接近するA船に気づき、同乗者と共に大声を出してA船に対して注意喚起をしたが、平成25年2月10日11時25分ごろ、福田東方沖において、A船の右舷船首部とB船の右舷中央部とが衝突した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 1～3、視界 良好 海象：海上 平穏
その他の事項	A船の船首方の見通しは良好であった。 B船の周辺には釣りをする多数の船が存在していた。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与	A あり、B あり A なし、B なし A なし、B なし

<p>判明した事項の解析</p>	<p>A船は、福田東方沖を北北西進中、船長Aが、魚群探索に注意を向け、見張りを適切に行っていなかったことから、B船に気付かず、B船と衝突したものと考えられる。</p> <p>B船は、福田東方沖において、釣りをして微速力後進中、船長Bが、釣りに注意を向け、見張りを適切に行っていなかったことから、A船が至近に接近するまで気付かず、A船と衝突したものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、福田東方沖において、A船が北北西進中、B船が釣りをして微速力後進中、両船長が見張りを適切に行っていなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚群探索中や釣り中であっても、見張りを適切に行うこと。</li> </ul>